

2013/07/30(火)18:21

授業コード	81R16
授業科目名	ビジネス研究プロジェクトI (12)(前)
担当者名	佐伯邦夫(サエキ クニオ)
単位数	6
開講期別	2013年度 前期
曜日・時限	木曜4限 木曜5限 木曜6限
特記事項	
オフィスアワー	
講義の内容	『売れない商品・サービスのリフォーム』(No.5) 新製品を空想的に考えさせるのではなく、Yesterday's hero、即ちかつて人気があった商品だが最近目にしなくなった、人気落ちている商品に注目し、どうすれば再び売れるようになるかを考えます。テーマの設定はグループあるいは個人で設定してもらいます。指導教官と合意の上、最終決定とします。 この講義でカバーするのは、市場の変化、競争構造の理解、当該ブランドの現状理解、市場・購買ターゲットのインサイトを理解し、ブランドのリポジジョン、そして具体的な再活性化プログラムを作成することです。 講義は、全体で上記の各分野の理解、そしてチーム/個人別に設定したテーマ企業/ブランドへの適用、理解をし、各テーマに指導教官とともに取り組む構成です。
到達目標	市場の変化、競争構造の理解、当該ブランドの現状理解、市場・購買ターゲットのインサイトを理解し、ブランドのリポジジョン、そして具体的な再活性化プログラムを作成する。
講義方法	基本は講義＋グループワークです。90分×3日×15回 最初の90分は講義 次の90分はグループワーク 次の90分はグループワークの続行プラス各チーム20分程度で教官と討議
準備学習	授業の開始時のオリエンテーションで指示します。
成績評価	出席、チーム貢献、プレゼンテーション、企画書の質。
欠席基準	授業実施回数の3分の1(端数は切り捨て)以上を欠席した場合は、単位を修得することができません。(「欠席」評価となります。)
講義構成	最初の2回:各チーム毎のテーマ、各人の役割を仮決定 最終決定は第4回終了までに 第5回開始までに各チーム毎のロードマップ(達成予定進行表)作成 10回目に授業は各チーム中間発表 15回の270分はプレゼンテーション。全て君達の時間です。 出席は各チーム毎に代表者からレポートして貰います。
教科書	教官の用意する資料及び事例
参考書・資料	マーケティング10の大罪(フィリップ・コトラー著 東洋経済)
講義関連事項	履修条件: 将来マーケティング、企業戦略を専門と考えて、論理的な思考が出来る者
担当者から一言	
その他	募集は20名+を考えます。 選考方法: 募集定員を超えた場合は、面談で履修者を決定する。
ホームページタイトル	
URL	